

図1 家庭から出るごみの排出量(単位:t)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
可燃ごみ	5,969	6,047	6,064	6,031	6,012
不燃ごみ	410	396	397	396	407
資源ごみ	934	897	872	846	805
集団回収	647	604	594	579	547
計	7,960	7,944	7,927	7,852	7,771
市人口(人)	33,218	32,617	32,054	31,556	30,955
一人一日当たりのごみの量(g)	657	667	678	682	688

図2 高梁市のごみの現状(人口推移と1人1日当たりのごみの量)

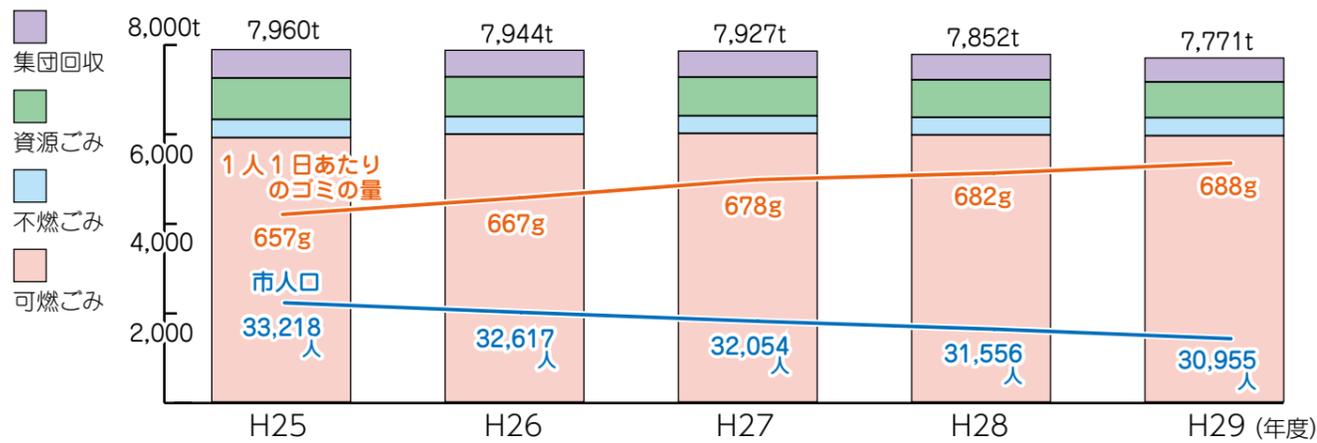


図3 ごみ処理にかかる経費

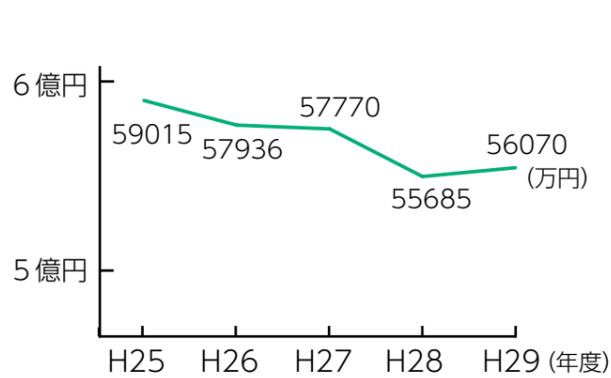


図4 ごみ1t当たり、人口1人当たりのごみ処理費用



分別しないごみってどうなるの??

資源をより有効に活用できるように、ごみの分別の種類が増えてきました。しかし、ごみの出し方が複雑になると適切な分別が行われず、さまざまな問題が発生します。特に、燃やせないごみやスプレー缶ごみの出し方を誤ると、収集時の車両火災やごみ処理施設内の発火事故の原因となる可能性があります。改めてごみの出し方を確認しましょう。

また、燃やせるごみや燃やせないごみの中に再生可能な資源が混ざっていることがあります。貴重な資源を生かすためにも、正しくごみを分別することが大切です。



▼ごみの分別方法や出し方が分かる「マナーは家庭から」を参考にしましょう。

特集

6月は「環境月間」

「ごみ」について考えよう



今月の特集では、市のごみ処理の現状や取り組み、ごみを減らす方法について紹介します。将来の子どもたちにより良い環境を残すためにも、「ごみ」について考えましょ。

環境課 ☎(21)0259



リサイクルプラザを見学(川面小学校)

高梁市の「ごみ」の現状

市内の各家庭などから排出されるごみの総量は、平成28年度が7852t、平成29年度が7771tとなっており、大きな変化はありません(図1・2)。

高梁市の人口は年々減ってきているため、排出されるごみの総量も減少するはずですが、1人1日当たりのごみの量は平成28年度が682g、平成29年度が688gとなっており、平成26年度から増え続けています。

また、ごみ処理にかかる経費は図3に示すとおり、平成25年度からほぼ横ばいとなっています。なお、ごみ1t当たりのごみ処理費用と人口1人当たりの処理費用は図4のとおりほぼ横ばいの状態ですが、平成29年度はどちらも平成28年度を上回っています。

このままの多くのごみが排出されると、ごみ処理費用が膨らむとともに、クリーンセンターなどのごみ処理施設の寿命に大きな影響を与え、将来的にはごみ処理費用の一部を市民の皆さんが負担する必要があるかもしれません。